

歴博を歩く

寺子屋で手習い体験をしてみよう

広報部会

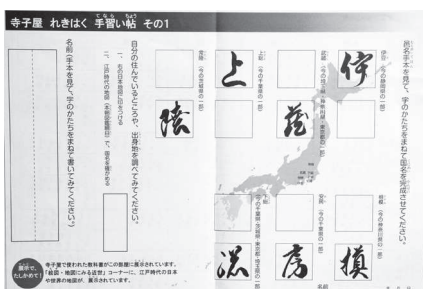
今回は、館内を歩き廻るのでなく、一か所にとどまり手習い体験をしてみましよう。寺子屋は総合展示第3室のリニューアルオープンに合わせて2008年3月に開室しました。登録ボランティア(以下、ボランティア)により10時から16時まで開かれている常設のコーナーで、全国の博物館のなかでも大変ユニークな取組です。現在は現役の学生から80歳を超えるベテランまで約100名のボランティアで運営されており、うち約半数が友の会の会員です。



手習い風景 (歴博提供)

手習い体験は6年生がメインターゲット

小学校6年生の社会科で江戸時代に寺子屋があったことを学びますので、来室者の過半は学童団体です。「歴博寺子屋教本」をもとに、6年生を想定して作られた「手習い帖-その1」により、くずし字で旧国名や自分の氏名を書きます。また「本朝図鑑項目」を見て現在住んでいる市町村の旧国名を調べ御家流で書きます。初めて変体仮名で書いた自分の名前をボランティアが読んであげると、児童や外国人はもちろん、「子供が対象の手習いでしょ」と言っていた大人も大変喜んでくれます。手習い修了の証に捺印する歴博オリジナルのスタンプは特に子供たちに大好評です。



教材作成にはボランティアも参加

寺子屋には開室時に館側で作成した教材が多数あります。産卵紙商標印スタンプ、各種の双六、算木などが人気です。その後に追加された教材にはボランティアが参加して作成したものがあ

ソウラクダク 相楽郡	精華町	セイカチョウ	ヤマシロ 山城
	南山城村	ミナミヤマシロムラ	ヤマシロ 山城
	和束町	ワツカチョウ	ヤマシロ 山城
ツツキダク 綴喜郡	井手町	イデチョウ	ヤマシロ 山城
	宇治田原町	ウジタワラチョウ	ヤマシロ 山城
フナイダク 船井郡	京丹波町	キョウタンバチョウ	タシバ 丹波
ヨサダク 与謝郡	伊根町	イネチョウ	タシバ 丹後
	与謝野町	ヨサノチョウ	タシバ 丹後
オオサカシ 大阪市	旭区	アサヒク	セツツ 摂津
	阿倍野区	アベノク	セツツ 摂津
	生野区の以下を除く地域	イクノク	セツツ 摂津
	田島	タジマ	カワチ 河内
	箕中	タツミナカ	カワチ 河内

「旧国名検索表」の一部 (大阪市など)

す。御家流で書いた「国名尽一覧表」(66カ国+2島+蝦夷地及び琉球王国)。特に現在の市町村名から旧国名を知る「旧国名検索表」は大変有意義な補助教材です。

歴史に興味を持っていただく

児童は手習い体験で江戸時代の文字を学び歴史に興味をもってもらいます。大人は現住所の旧国名を再認識し、くずし字(変体仮名)は一音多字であったこと、一音一字になったのは、たかだか120年前。くずし字のいくつかがいまでも飲食店の店名(屋号)などに使われていることなどを知る機会になります。寺子屋の教育システム(マンツーマンで能力に応じた個別指導)は現在も一部の学習塾などで採り入れられています。

来館者とボランティアの交流の場所

来館者は総合展示第1室・第2室と巡り、ちょっと疲れたところに寺子屋にたどり着きます。座布団に座って手習い体験をしますが、足の悪い方のための椅子席も用意されています。年配者は休憩のため、またボランティアと話をするためだけに立ち寄る方も結構見かけ、広大な歴博の中でオアシスとなっています。来館者には歴史に幅広い知識をお持ちの方も多く、ボランティアにとっても学びの場所です。